

第68期
中間報告書

（第2四半期累計期間）
自 平成26年8月1日
至 平成27年1月31日

 株式会社 稲葉製作所

証券コード：3421

平成27年 4 月

株主の皆様へ

代表取締役社長 稲 葉 明

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このほど当社グループ第68期第2四半期連結累計期間（平成26年8月1日から平成27年1月31日まで）の業績を取りまとめましたので、その概況をご報告申し上げます。

事業の概況

当事業年度の第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策により、輸出や生産の持ち直し、企業収益の改善など明るい兆しが見え始めました。しかしながら、欧州経済の減速、中国での不動産市況の悪化、輸入価格の上昇など国内景気を下押しするリスク要因があり、依然として先行きの不透明感は拭えない状況となっております。また、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や夏場の天候不順から個人消費に弱い動きがみられた事から、日銀は昨年10月末追加の金融緩和を発表し、デフレ脱却へ向けて不転の決意を示しました。今年に入りますと、原油の値下がりや追い風となり景気の緩やかな回復を後押しする形となっております。

このような状況のもと、当社グループが関連する鋼製物置業界におきましては、物置需要動向に直接関連する新設戸建住宅着工戸数は、回復の動きが弱いものの、雇用や所得環境の改善が伴えば向上と思われまます。オフィス家具業界につきましては、景気の回復に伴い、オフィスの移転需要やリニューアル需要が増加したものの、投資に対する企業の慎重な姿勢と激しい価格競争により、極めて厳しい状況で推移しました。

このような経営環境の中で、当社グループの鋼製物置セグメントにおきましては、平成24年10月に「圧倒的高さと存在感」を誇る『イナバ倉庫』、平成25年5月には断熱材をプラスした『NEXTA+（ネクスタプラス）』を発売いたしました。オフィス家具セグメントにおきましては、この1月に『Frei（フレイ）』（大型連結テーブル）、『DUENA（デュエナ）』（H700デスク）、『TF（ティーエフ）』（書庫）を発売いたしました。

生産面におきましては、各工場のA P I 推進室を中心に、生産性向上、業務改善に引き続き努めるとともに、新たに「5 S + S (安全) 運動」を展開しております。

以上の諸施策を推進し業績の向上に努めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.9%増加の14,187百万円となりました。損益面につきましては、販管費の増加等により、営業利益は428百万円(前年同期比45.5%減)、経常利益は538百万円(前年同期比40.8%減)、四半期純利益は、前年同期に旧大和工場跡地売却等により特別利益に有形固定資産売却益655百万円を計上していたことの反動の影響もあり、前年同期比71.2%減の277百万円となりました。

以上の結果から、当第2四半期末配当金につきましては、前期末配当に続き、取締役会の決議により、1株につき10円とさせていただきます。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[セグメント売上高]

セグメントの名称	金額	前年同期比	構成比
鋼製物置	9,403百万円	97.2%	66.3%
オフィス家具	4,783	112.8	33.7
合計	14,187	101.9	100.0

[鋼製物置]

出荷棟数ベースでは前年同期比小型収納庫、一般物置共に減少となったものの、採算性の高い『イナバ倉庫』が大きく伸び、また、『dust box mini (ゴミ保管庫)』、『片持ち自転車置場 (B Pタイプ)』も著しい伸びを示しました。

その結果、売上高は9,403百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益は1,011百万円(前年同期比25.3%減)となりました。

[オフィス家具]

部材の共通化を実施し、部品点数削減及び軽量化を進めたデスク、ワゴンの生産を開始するとともに、顧客の要望に合致した新製品(デスク、

チェア、書庫)の開発に努めてまいりました。ここにきましてイナバブランドにおいてもOEM先向け販売においても、売上は若干回復基調にありますが、依然として熾烈な価格競争が続いている状況にあります。

その結果、売上高は4,783百万円(前年同期比12.8%増)、セグメント損失は111百万円(前年同期は113百万円のセグメント損失)となりました。

今後の見通しにつきましては、3月期決算の上場企業において、自動車や電機を中心に、経常利益が7年振りに過去最高になるものと思われる。しかしながら、消費回復の歩みは緩く、海外需要も先行きは不安がのぞき、依然として先行き不透明な状況が予想されます。

このような状況のもと、鋼製物置セグメントにおきましては、東北地方を含め全国的にガレージシリーズ、イナバ倉庫等大型製品の出荷が好調に推移しており、引き続き注力してまいります。また、2月には小型収納庫『M J X (シンプリー)』を、3月には全面開口の小型収納庫『B J X (アイビーストッカー)』を投入しており、新製品効果で、販売増加に努めてまいります。

オフィス家具セグメントにおきましては、1月に新発売しました『F r e i (フレイ)』(大型連結テーブル)、『T F (ティーエフ)』(書庫)、更に『D u E N A (デュエナ)』シリーズのH700デスク・H720デスク等の拡販を目指してまいります。また、今後も機種及びオプション品等を追加していく予定であり、引き続き市場環境の変化に対応した製品の開発・生産の強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前期末 (平成26年 7月31日現在)	当第2四半期末 (平成27年 1月31日現在)
資産の部		
流動資産	30,412,905	29,130,685
現金及び預金	20,043,702	16,973,255
受取手形及び売掛金	7,989,407	7,993,639
有価証券	—	1,500,000
商品及び製品	1,495,348	1,742,280
仕掛品	160,238	203,723
原材料及び貯蔵品	247,245	279,311
その他	481,521	441,143
貸倒引当金	△4,557	△2,669
固定資産	19,089,805	20,237,140
有形固定資産	16,363,997	17,628,594
建物及び構築物（純額）	3,749,985	3,707,888
土地	11,271,049	11,271,049
その他（純額）	1,342,962	2,649,656
無形固定資産	142,369	140,829
投資その他の資産	2,583,438	2,467,716
その他	2,583,850	2,468,128
貸倒引当金	△411	△411
資産合計	49,502,711	49,367,825
負債の部		
流動負債	10,899,020	11,032,092
支払手形及び買掛金	7,610,091	7,417,035
未払法人税等	792,175	143,495
賞与引当金	274,248	274,181
その他	2,222,506	3,197,380
固定負債	3,358,321	2,319,688
役員退職慰労引当金	425,304	436,414
退職給付に係る負債	2,124,502	1,081,588
その他	808,514	801,686
負債合計	14,257,342	13,351,780
純資産の部		
株主資本	35,297,350	36,000,960
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	987,847	987,847
利益剰余金	33,487,547	34,191,172
自己株式	△310,093	△310,108
その他の包括利益累計額	△51,981	15,083
その他有価証券評価差額金	121,090	175,956
退職給付に係る調整累計額	△173,071	△160,872
純資産合計	35,245,369	36,016,044
負債純資産合計	49,502,711	49,367,825

(記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。)

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 8 月 1 日 至 平成26年 1 月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 8 月 1 日 至 平成27年 1 月31日)
売上高	13,920,422	14,187,428
売上原価	10,029,449	10,546,890
売上総利益	3,890,973	3,640,537
販売費及び一般管理費	3,105,268	3,211,974
営業利益	785,705	428,563
営業外収益	165,712	144,068
受取利息	8,819	10,242
受取配当金	2,319	2,454
作業くず売却益	58,168	52,795
電力販売収益	54,657	51,441
雑収入	41,746	27,135
営業外費用	41,336	33,932
支払利息	552	453
電力販売費用	33,267	32,657
雑損失	7,517	821
経常利益	910,081	538,699
特別利益	655,694	87
固定資産売却益	655,694	87
特別損失	13,852	93,372
減損損失	12,838	91,529
その他	1,013	1,842
税金等調整前四半期純利益	1,551,922	445,415
法人税、住民税及び事業税	357,300	123,870
法人税等調整額	227,843	43,584
法人税等合計	585,143	167,454
四半期純利益	966,779	277,961

(記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年8月1日 至 平成27年1月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,551,922	445,415
減価償却費	285,115	301,029
減損損失	12,838	91,529
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	135	△1,888
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,768	△66
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△138,544	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	△91,797
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,805	11,110
受取利息及び受取配当金	△11,139	△12,696
有形固定資産売却損益 (△は益)	△655,614	△87
売上債権の増減額 (△は増加)	268,731	△4,231
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△215,937	△322,483
仕入債務の増減額 (△は減少)	△87,110	△193,056
その他	△570,488	△321,768
小計	455,483	△98,993
利息及び配当金の受取額	11,218	12,407
法人税等の支払額	△343,554	△765,261
その他	△533	△453
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,613	△852,301
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,500,000	△11,000,000
定期預金の払戻による収入	9,300,000	11,000,000
有形固定資産の取得による支出	△340,678	△370,449
有形固定資産の売却による収入	1,495,443	702
投資有価証券の取得による支出	△303	△201,738
投資有価証券の償還による収入	-	100,000
保険積立金の積立による支出	△63,512	△58,820
その他	△86,959	△11,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,196,010	△542,110

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年8月1日 至 平成27年1月31日)
Ⅲ財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△169,772	△175,399
自己株式の処分による収入	712,856	—
その他	△677	△635
財務活動によるキャッシュ・フロー	542,406	△176,034
Ⅳ現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
Ⅴ現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△530,990	△1,570,446
Ⅵ現金及び現金同等物の期首残高	6,838,840	9,043,702
Ⅶ現金及び現金同等物の四半期末残高	6,307,850	7,473,255

(記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。)

会社の概要 (平成27年1月31日現在)

- 社 名：株式会社稲葉製作所
英 文 名：INABA SEISAKUSHO Co., Ltd.
本 社：東京都大田区矢口二丁目5番25号
創 業：昭和15年4月
設 立：昭和25年11月
資 本 金：1,132,048,500円
従 業 員 数：961名(連結) / 866名(単体)
事 業 内 容：オフィス家具および鋼製物置の製造ならびに販売
U R L：http://www.inaba-ss.co.jp
営 業 所：仙台営業所(宮城県仙台市)・東京営業所(東京都大田区)
千葉営業所(千葉県柏市)・神奈川営業所(神奈川県藤沢市)
静岡営業所(静岡県藤枝市)・名古屋営業所(愛知県犬山市)
大阪営業所(兵庫県西宮市)・広島営業所(広島県広島市)
福岡営業所(福岡県福岡市)
ショールーム：東京オフィスショールーム(東京都渋谷区)
大阪オフィスショールーム(兵庫県西宮市)
工 場：柏工場(千葉県柏市)
犬山工場(愛知県犬山市)
配送センター：北海道配送センター(北海道江別市)
東北配送センター(宮城県仙台市)
郡山配送センター(福島県郡山市)
新潟配送センター(新潟県新潟市)
北関東配送センター(群馬県前橋市)
長野配送センター(長野県長野市)
柏配送センター(千葉県柏市)
神奈川配送センター(神奈川県藤沢市)
静岡配送センター(静岡県藤枝市)
北陸配送センター(石川県金沢市)
犬山配送センター(愛知県犬山市)

大阪配送センター（兵庫県西宮市）
岡山配送センター（岡山県岡山市）
広島配送センター（広島県広島市）
山口配送センター（山口県山口市）
高松配送センター（香川県高松市）
松山配送センター（愛媛県松山市）
福岡配送センター（福岡県福岡市）
熊本配送センター（熊本県熊本市）
鹿児島配送センター（鹿児島県鹿児島市）

子 会 社：イナバイインターナショナル株式会社（東京都渋谷区）
株式会社共進（群馬県前橋市）

役 員（平成27年1月31日現在）

代表取締役社長	稲 葉	明
専務取締役	稲 葉	茂
専務取締役	小 島	秋 光
常務取締役	丹 下	孝
常務取締役	多 田	一 志
取 締 役	小見山	雅 彦
取 締 役	佐 伯	則 和
取 締 役	森 田	泰 満
常勤監査役	中 本	進
社外監査役	尾後貫	達 也
社外監査役	屋 敷	一 男

株式の状況 (平成27年1月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株

発行済株式の総数 17,922,429株

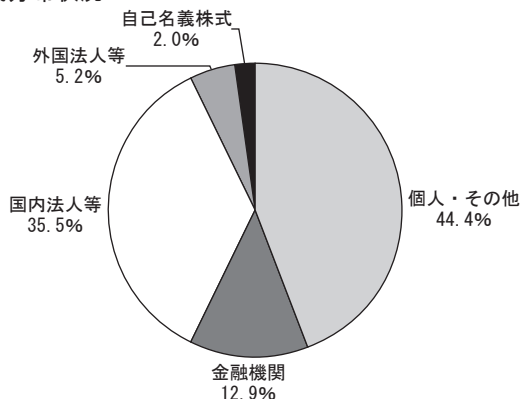
株主数 18,508名

大株主 (上位10名)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社イナバホールディングス	3,569	20.3
株式会社共進	1,963	11.2
稲葉 明	526	3.0
稲葉 茂	498	2.8
秋本 千恵子	475	2.7
瀬間 照次	453	2.6
稲葉 進	448	2.6
株式会社りそな銀行	411	2.3
稲葉製作所取引先持株会	400	2.3
稲葉 常雄	376	2.1

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 なお、当社は自己株式を361,668株保有しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎年10月開催
基準日	定時株主総会 毎年7月31日 期末配当 毎年7月31日 中間配当 毎年1月31日
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル)
(ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

各種手続きのお申出先

1. 未払配当金のお支払については、株主名簿管理人へお申出ください。
2. 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等
 - ・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
 - ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社または三井住友信託銀行の本店および全国各支店(「コンサルティングオフィス」・「コンサルプラザ」・「i-Station」を除く)へお申出ください。
 - ・特別口座の郵便物送付先および電話照会先
〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)
ホームページURL <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

